

# 2019年度教育事業 教員のための自然の家 プログラム体験会

## 1. ねらい

- 自然の家の利用経験があまりない先生方が利用方法を知る。
- 学校の目的に適したプログラムの企画・立案・運営方法を学ぶ。
- 新学習指導要領に基づき、集団宿泊活動を各教科等の年間指導計画に効果的に位置付けるための方法を知る。
- プログラム体験を通して適切かつ効果的に指導する力を培う。

## 2. 実施日

4月6日（土） 9:30～17:00

## 3. 対象者

国立曽爾青少年自然の家を利用する小学校・中学校教員

## 4. 参加者 / 募集定員

14名 / 30名程度

## 5. プログラム (要約)

自然体験活動の経験や、自然の家の利用経験が少ない先生方が、学校利用で来所する際、自信を持って指導に当たれるよう、自然の家職員が施設の利用方法について説明する。また、職員の指導により事前にプログラム体験をすることで、より学校のねらいに沿った効果的な活動が行えるようプログラムを展開した。

### スケジュール

	時間	活動内容		
共通プログラム	9:00	受付		
	9:30	開会式、日程説明		
	9:40	プログラムの組み方、考え方 活動プログラムの各教科等の年間指導計画への効果的な位置付けについて		
	10:10	野外炊事ビーフカレー作り（薪割り、薪組み、火おこし、リスクマネジメント等）		
	11:40	昼食（食堂バイキング） 施設（宿泊棟・研修室・大浴場等）見学（希望者のみ）		
		①	②	
選択プログラム	13:00 (前半)	晴天	亀山ハイキング	森林調査隊・丸太切り体験
		雨天	自然発見オリエンテーリング そにとつピンゴ	森林調査隊・丸太切り体験
	休憩			
	14:45 (後半)	晴天	キャンプファイアー キャンドルファイアー	フォトテーリング オリエンテーリング
		雨天	キャンプファイアー キャンドルファイアー	クラブ（木のコースター、焼き板）
16:30	閉会式、アンケート記入			
17:00	解散			



開会式後、学校の目的に合わせた活動プログラムの組み方や考え方、活動プログラムの各教科等の年間指導計画への効果的な位置付けについて、連携校との具体的な取組も紹介し説明をした。

「野外炊事」では、はじめに自然の家の職員から、リスクマネジメントに関わる事柄を中心に説明をした後、実際にビーフカレー作りを体験した。グループに職員が1名入って先生方にアドバイスをしたり、質問に答えたりしながら行うことで、子どもたちの前でどのように指導をするとより効果的であるか、常に意識しながら行うことができた。

活動後の先生方との振り返りから、火起こしのみを体験した昨年度以上に、多くの気づきや発見があったことがわかった。



「亀山ハイキング」は、滑りやすいところを歩くときの注意点や、自然観察のポイント等に触れながら実施した。

また、ハイキングと並行してフォトテーリングの実施方法や注意点についても説明を行った。参加者からは、「実際に登ってみて、プログラムに必ず取り入れたい。」という声も聞かれた。

「キャンプファイアー」体験は、基本的な薪組の仕方とプログラムを実施する上で大切にしたい点等について体験しながら進めた。また、参加者からの要望に応え、「カプラ」も体験した。自然の家での活動例を紹介することで、子どもたちが実施するときには、どうすればよいか参加者が相談しながら取り組んでいた。

## 5. まとめ

参加者からは、「『こんな場合はどうか』など、いろいろなことに相談に乗ってもらえた」「参加して実際に体験することで、知ることがあるのだと思った」「実際に経験することで、具体的なイメージができ、自信を持って生徒に指導できると思う。とても良い時間だった。」との感想があった。今後、学校現場のニーズをさらに取り入れながら、より充実した事業としていきたい。

(企画指導専門職 曾和 良友)